

【2024年度 キャリア委員会 事業報告】

委員長校	関西学院大学
副委員長校	関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学
委員校 (全:24校)	芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西学院短期大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上
取組1	大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクトの実施
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて、兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上 ②参加者数 2500名(学生数2250名以上、教職員数250名以上)以上/5年
活動指標	各年参加者数 500名以上(学生数450名以上、教職員数50名以上)
取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信
達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
活動指標	企業情報の追加掲載 2種類以上
課題	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進
取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施
達成目標	①本プログラムへの参加を通じて、日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上 ②参加留学生数 2500名以上/5年
活動指標	各年参加留学生数500名以上

目的
兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

予算額	課題①地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		
	取組1-1	「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	4,633,000円 (受託事業収入)
	取組1-2	「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	500,000円 (受託事業収入)
	取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信	0円
	課題④外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		
	取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	1,600,000円
	取組1-2	「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	6,291,000円 (受託事業収入)

期待される効果
1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
3. 各加盟校単独では実施が困難と思われる、「留学生に特化したインターンシップ」や「合同企業説明会」実施に向けて、持続可能な仕組みづくりが期待される。
4. 外国人留学生を企業が受け入れるための体制支援を強化し、外国人留学生採用のためのワンストップ相談窓口をコンソが担うことで、大学、行政、企業が連携した新たなネットワークを構築が期待できる。

【2024年度 キャリア委員会 事業報告(①取組1-1)】

課題①取組1-1	「兵庫県」大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
達成目標	①兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合70%以上 ②参加者数 2500名(学生数2250名以上、教職員数250名以上)以上/5年
課題を解決する取組概要	大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト ＜若者の地元密着のための就職支援事業＞ 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。
活動指標	各年参加者数 500名以上(学生数450名以上、教職員数50名以上) ※課題①取組1-1、課題①取組1-2の合計数

計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
【兵庫県総務部教育課 受託事業 「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】 <u>Ⅰ、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</u> 1)県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会(計3回) 大学が目指す人材育成像、企業が求める人材像について、キャリアセンターと県内企業が意見交換を行う。 ①2024年9月21日予定 ②2024年10月予定(協業：神戸商工会議所) ③2025年1月頃予定 2)県内企業間の情報連携(計3回) 県内企業に就職した県内大学生を対象に、その企業に就職した理由等を調査し県内の他の企業に情報共有する。 「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」掲載企業に、2024年8月～12月頃取材・掲載予定。 <u>Ⅱ、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</u> 1)経営者による職業観形成プログラム(計1回) 県内中小企業の経営者が、地域に根差した先進的・実践的な自社の取組や課題解決事例等、直接学生に講話し、学生の地元意識の高揚を図る。 ・2025年1月予定：経営者・人事の面接大作戦・パネルディスカッション 2)若手社員による学生啓発プログラム(計1回) ・2025年1月予定：合同模擬グループディスカッション ※その他、加盟校、地元企業からの間で課題等を共有し、解決に向けたプログラムを実施予定。	【計画に対する実施結果】 <u>Ⅰ、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組</u> 1)県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会(計3回) ①2024年9月21日 「セミナー&パネルディスカッション」 参加者：(教職員)11校12名、企業45社45名 ②2024年10月23日 「企業とキャリアセンターとの就職情報交換inKOBEL(協業：神戸商工会議所) 参加者：(教職員)23校24名、企業99社104名 ③2025年1月25日開催予定 「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」大学キャリアセンターと企業の情報交換会 ④「インターンシップに関するワーキング」 参加者：(教職員)12校33名 2)県内企業間の情報連携(計3回) 「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に、「シマブンコーポレーション」「白鶴酒造」「レック」の「先輩社員インタビュー」を3件追加した。 <u>Ⅱ、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</u> 1)経営者による職業観形成プログラム(計1回) ・2025年1月25日開催予定： 経営者・人事担当者が参加する「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」 2)若手社員による学生啓発プログラム(計1回) ・2025年1月25日開催予定： 「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」 3)2月20日開催予定：「ワーク・ライフ・バランス表彰企業が集結！ひょうごWEB企業研究フェア」 4)3月開催予定：中小企業家同友会合同企業説明会 ＜自己評価＞ 「企業とキャリアセンターとの意見交換会」は、県内企業と学校が一室に会し、関係性構築と相互理解を同時に促進できる有益な場であり、大学教職員にとって学生の就職支援に役立つ情報を得る貴重な機会となった。また、「県内企業間の情報連携」として、県内企業に就職した県内大学生に就職理由や就活アドバイスなどを調査し、その内容を「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に掲載した。「インターンシップに関するワーキング」では企業代表者や行政を交えて、学生のインターンシップに関する意見交換が行われ、インターンシップに纏わる企業と行政と大学の三方の視点での課題を共有する機会となった。1月～3月のキャリアイベントで、活動指標に到達を目指す。	【報告】 Ⅰ、大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 1)県内企業経営者等によるキャリアセンター向けの企業説明及び意見交換会(計7回) ①2024年8月29日・9月17日 「インターンシップに関するワーキング」参加者：(教職員)12校33名 ②2024年9月21日 「セミナー&パネルディスカッション」 参加者：(教職員)11校12名(企業)45社45名(オンライン18社23名) ③2024年10月23日 「企業とキャリアセンターとの就職情報交換in KOBEL(協業：神戸商工会議所) 参加者：(教職員)23校24名(企業)99社104名 ④2025年1月25日 「合同模擬グループディスカッション・面接大作戦」大学キャリアセンターと企業の情報交換会 参加者：(教職員)15校15名(企業)25社45名 ⑤2025年2月12日 「淡路地域企業×大学キャリアセンターとの意見交換会」 参加者：(教職員)9校10名(企業)7社10名(行政等)1団体1名 ⑥2025年2月19日 「丹波地域企業と大学キャリアセンターとの情報交換会」 参加者：(教職員)15校16名(企業)15社24名(行政等)5団体11名 ⑦2025年3月6日 「兵庫県中小企業家同友会企業×大学キャリアセンター意見交換会」 参加者：(教職員)6校6名(企業)39社117名(行政等)2団体3名 2)県内企業間の情報連携(計3回) 「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に、 ①「シマブンコーポレーション」②「白鶴酒造」③「レック」の「先輩社員インタビュー」を追加した。 (企業)3社3名(学生)3校3名 <u>Ⅱ、大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組</u> 1)経営者による職業観形成プログラム(計1回) ①2025年1月25日：県内企業経営者・人事担当者とのネットワーキング 参加者：(学生)117校62名(教職員)15校15名(企業)25社45名(行政等)1団体2名 2)若手社員による学生啓発プログラム(計5回) ①2024年12月14日・2025年2月8日：「加盟校合同キャリアセミナー(就活直前講座★選考を通過するES・面接の本質とは!?)」 参加者：(学生)延べ7校24名(教職員)延べ7校11名(行政等)1団体1名 ②2025年1月25日：「合同模擬グループディスカッション」参加者：(学生)17校62名(教職員)15校15名(企業)19社28名(行政等)1団体2名 ③2025年1月25日：「面接大作戦」参加者：(学生)17校62名(教職員)15校15名(企業)19社28名(行政等)1団体2名 ④2025年2月20日：「ワーク・ライフ・バランス表彰企業が集結！ひょうごWEB企業研究フェア」参加者：(学生)54校128名(企業)47社47名(行政等)2団体3名 ⑤2025年3月6日：「ひょうご就職サミット」 参加者：(学生)13校21名(教職員)6大学6名(企業)39社117名(行政等)2団体3名 ＜報告＞ 2024年度事業における大学キャリアセンター教職員向けの企業説明及び意見交換会は、計7回。若手職員による学生啓発プログラムは、計5回に上る。企業がインターンシップを採用活動に活用できるようになった影響で、就職活動も早期化しており、開催時期の見直しも必要になっている。
達成目標に対する実績	①100% ②学生1192名・教職員406名(累計)	①97% ②学生1618名・教職員515名(累計)
活動指標に対する実績	参加者数 69名(学生0名・教職員69名)	参加者数604名(学生426名・教職員178名)
自己評価基準：対到達目標 ※	2	—
自己評価基準：対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
4,633,000円	3,463,701円	1,169,299円	4,633,000円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
企業と大学をつなげ、教職員とコンソーシアムの関係を深めた点や、教職員に企業や法律家など、多角的な視点での情報提供ができたのは評価できる。加盟校を卒業した「先輩」が、県内企業に入社したきっかけを語る「先輩インタビュー」は、学生に地元就職を意識させる点で有効といえ、継続いただきたい。1～3月のキャリアイベント集客にも帰結するが、次年度以降は、就職活動中の学生に発信内容を届ける一層の取組に期待したい。				

※ 自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※ 自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 キャリア委員会 事業報告(①取組1-2)】

課題①取組1-2	「尼崎市」大学生等向け職場体験事業	
達成目標	①兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合70%以上 ②参加者数 2500名(学生数2250名以上、教職員数250名以上)以上/5年	
課題を解決する取組概要	< 尼崎市内企業を対象とした大学生等向け職場体験事業 > 兵庫県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足が考えられている。また、兵庫県は製造品出荷額が全国第5位と、国内有数のものづくり県であるが、近年採用難を抱える企業が増加しており、学生の地元企業理解を深める機会を提供する必要性がこれまでに高まっている。さらに、企業ごとの採用活動だけでは近年の多様化した学生ニーズに対応しきれないことから、地方自治体が複数企業での職場体験の機会を提供し、地域企業の魅力を発信・体感できる機会を提供することで、若者の社会人基礎力を育成するとともに地元企業への就職を促進し、地域の活性化を実現する。	
活動指標	参加者数15名以上（課題①の達成目標：各年参加者数 500名以上(学生数450名以上、教職員数50名以上)を含む）	
計画(4月記載)		自己評価(12月記載)
【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業「大学生等向け職場体験事業」】 尼崎市内の企業(中小・大手の事業者等)を複数社組み合わせた職場体験イベントを実施する。 具体的には、市内企業3社を1コース(1社半日～1日程度)とし、各事業所の業務内容や業界説明、工場見学等も取り入れた職場体験を行う。 ■事業実施時期(予定) 令和6年8～9月(大学夏季休暇期間) ■対象 2026年卒業予定の大学生・短大生・高専生 (上記を主体とするが全学年参加可能) ■目標人数 15名(3コース各5名ずつ) ■事業委託内容 1)参加学生募集の広報活動 チラシの作成やインターネットを利用した情報発信など 2)参加学生の選考・管理 申込書を作成の上、目標人数の参加学生確保に努め、必要に応じて尼崎市と協議した上で選考を行う。参加が決まった学生に対して職場体験や傷害保険に関する案内、質疑応答の受け付けを行う。 ■スケジュール ・5/13(月):HP公開(学生募集開始) ・6/28(金):学生募集締切 ・7/1(月)～4(木):学生選考 ・8～9月:職場体験 (実施日は上記期間中の1.5～2日間(コース別日程調整中)) ■コース(案) ・Aコース(理系のみ) ヤンマーパワーテクノロジー(株)、住友精密工業(株)、(株)神崎高級工機製作所 ・Bコース 日本製鉄(株)関西製鉄所、(株)タクマ、(調整中) ・Cコース (株)クボタ阪神工場、(株)近鉄・都ホテルズ、(調整中)		【尼崎市経済環境局経済部しごと支援課受託事業「大学生等向け職場体験事業」】 尼崎市内の企業(中小・大手の事業者等)を複数社組み合わせた職場体験イベントを実施した。 市内企業9社とし、各事業所の業務内容や業界説明、工場見学等も取り入れた職場体験を行った。 ■参加者 参加者:(学生)18校64名 (企業・行政)23名 ■受入企業・実施日・参加者 ①住友精密工業(株) 8/19(月) 学生:7大学7名 ②(株)神崎高級工機製作所 8/20(火) 学生:4大学5名 ③ヤンマーパワーテクノロジー(株) 8/21(水) 学生:8大学8名 ④(株)エフエスティ 8/23(金)、9/13(金) 学生:4大学4名 ⑤(株)クボタ 阪神工場 武庫川事業所 8/26(月) 学生:6大学8名 ⑥(株)タクマ 9/9(月) 学生:11大学12名 ⑦(株)近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎 9/18(水) 学生:2大学3名 ⑧音羽電機工業(株) 9/5(木) 学生:7大学7名 ⑨日本製鉄(株) 関西製鉄所 9/10(火) 学生:8大学10名 <自己評価> 尼崎市内に事業所を置く9社での職場体験事業に、のべ64名の学生が参加した。社員との交流会を企画した社もあり、学生アンケートからは、「具体的な社員像をつかむことができた」という声が多くあがった。学生たちは、合同説明会や会社概要だけでは知ることのできない社風を知ることができたと思う。ほかに、「複数社を比較でき、業界研究ができた」という声もあった。ものづくりのまち「尼崎」の奥深さを知るために企画された事業だが、学生の満足度の高い事業になった。
達成目標に対する実績		①100% ②学生1192名・教職員406名(累計)
活動指標に対する実績		参加者数 64名(学生64名)
自己評価基準:対到達目標 ※		4
自己評価基準:対継続性 ※		4

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
500,000円	500,000円	0円	500,000円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
尼崎市内企業への理解を深めた点、参加学生の満足度が非常に高かった点、自治体との連携が深まった点は評価できる。次年度は、自治体や企業ニーズをさらに踏まえ、日本人だけでなく、留学生も対象にした尼崎市内の職場体験事業も進めていきたい。当事業で得たノウハウを他の自治体に広めたり、コンソ事業に取り入れたりするなど、兵庫県全域のコンソとしてのプレゼンスの向上に繋げることを期待する。				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	-------------	--

【2024年度 キャリア委員会 事業報告(①取組2)】

課題①取組2	県内企業・団体等の魅力を情報発信
達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
課題を解決する 取組概要	県内企業・団体等の魅力を情報発信 地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。
活動指標	企業情報の追加掲載 2種類以上

計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(外国人留学生採用予定を含む)(企業HPへリンク) ※兵庫県内協力企業153社掲載中(2024年3月時点) ※掲載企業情報の内容を充実するため、企業情報欄を追加する(本年度10月頃に確定) 【追加情報欄例】 ・WLB企業 ・くるみんマーク(子育てサポート企業) ・ひょうごオンラインワン企業 ・ユースエール認定企業 ・その他 ※昨年度同様、キャリア委員校と連携して2024年度掲載準備を行い、委員会で企業情報の追加内容を確定(8月頃)・推薦企業への確認(10月末頃)を経て、本年度版「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」(12月)に反映する。	達成目標は達成済み。 「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」の「一覧から探す」の項目に、以下2件を追加する。 1.「WLB認定企業」 WLB企業＝超過勤務の縮減、年次有給休暇の取得促進、仕事と育児の両立支援、仕事と介護の両立支援といった「ワーク・ライフ・バランス」に取り組み、公益財団法人「ひょうご仕事と生活センター」から認定、表彰された企業 2.「兵庫県奨学金返済支援制度導入企業」 兵庫県奨学金返済支援制度＝兵庫県内の中小企業に就職すれば、奨学金返済の自己負担が「ゼロ」になるというもの。県が返済額の三分の二、企業が三分の一を負担。(上限額あり) <自己評価> 「ワーク・ライフ・バランス」「奨学金の返済サポート」というのは、現代の学生ニーズに合った指標である。国や自治体等が認定する指標を、一覧にすることで、視認性が高まる。遠くの大企業だけでなく、近くの県内企業へ目を向けさせる一助にもなる。学生にとっては、企業研究の新たな切り口になり、学生が企業に求めるもの、学生が社会人として思い描く姿が具体的にイメージできるようになると考える。	「地元で働こう！兵庫県内企業情報サイト」の「一覧から探す」の項目に、以下2件を追加する。 1.「WLB認定・表彰企業」 WLB企業＝超過勤務の縮減、年次有給休暇の取得促進、仕事と育児の両立支援、仕事と介護の両立支援といった「ワーク・ライフ・バランス」に取り組み、公益財団法人「ひょうご仕事と生活センター」から認定、表彰された企業 2.「兵庫県奨学金返済支援制度導入企業」 兵庫県奨学金返済支援制度＝兵庫県内の中小企業に就職すれば、奨学金返済の自己負担が「ゼロ」になるというもの。県が返済額の三分の二、企業が三分の一を負担。(上限額あり) <報告> 達成目標、活動指標ともに達成した。2024年度は、「WLB認定企業」「WLB表彰企業」「兵庫県奨学金返済支援制度導入企業」を掲載した。今後も、キャリア委員と協力しながら、学生と県内優良企業をつないでいく。
達成目標に対する実績	153社	153社
活動指標に対する実績	追加情報掲載2種類	追加情報掲載2種類
自己評価基準:対到達目標 ※	3	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
0円			0円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
「WLB認定企業・表彰企業」「兵庫県奨学金返済支援制度導入企業」等、客観的な指標を一元化して掲載することにより、企業の比較や、企業研究の手助けになる点を評価したい。「兵庫県奨学金返済支援制度」については、産業界、自治体が地元就職促進を目的に始まった取り組みであり、学生に周知させることは意義深い。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 キャリア委員会 事業報告(④取組1-1)】

課題④取組1-1	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	
達成目標	①日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合70%以上 ②参加留学生数 2500名以上/5年	
課題を解決する 取組概要	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。	
活動指標	各年参加留学生数 500名以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
I. 留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。 参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。 【プログラムスケジュール】 ・インターンシップ説明会(オンライン) 4月22日(月) ※説明会以降5月26日(日)までオンデマンド配信 ・エントリー学生ガイダンス 6月4日(火) ・エントリー学生と企業の交流会 6月8日(土) ・企業・団体実習期間 8月1日(火)～9月15日(金)頃 ・報告会・修了交流会 9月21日(土) II. 留学生支援プログラム(外国人向け合同企業説明会) ・留学生向け合同企業説明会(2024年6月19日) 留学生と県内企業とのマッチングを行う企業説明会・就職セミナー等を開催する (主催:神戸市、兵庫県、ひょうご・神戸国際ビジネススクエア) III. インターンシップ番外編 『国際交流機関リレーインターンシップ』 【趣旨】国際交流や協力機関での就職を希望する学生を対象に、各機関のリレーインターンシップを日本人学生と留学生がペアになって実施する。学生の業界研究、就職促進及び海外留学に繋げたり、留学生とペアで実施することによる、価値観が違う者同士が協働して成果を出す方法を考たりする機会を提供する。 【受入予定機関】JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ 【受入時期】8月～9月、各機関1～2日で合計5日以上 【実施背景】当コンソ、JICA関西、兵庫県国際交流協会との3者協定に伴う連携事業の1つとして実施。	I. 留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)留学生10大学、61名が参加。企業26社が協力。 【プログラムスケジュール】 ・4月22日(月)インターンシップ説明会(オンライン) 参加:(留学生)159名 ・6月4日(火)エントリー学生ガイダンス 参加:(留学生)12大学84名(教職員)1校1名(企業)1社1名 ・6月8日(土)エントリー学生と企業の交流会 参加:(留学生)12大学83名、(教職員)4校5名(企業)18社33名(行政)1名 ・7月末～9月企業・団体でのインターンシップ実習 参加:(留学生)10大学61名、(企業・団体)26社 ・9月21日(土)報告会・修了交流会 参加:(留学生)9大学51名、(教職員)9校10名(企業・団体・行政)48名 II. 留学生支援プログラム(外国人向け合同企業説明会) ・6月19日(水)留学生向け合同企業説明会 主催:神戸市、兵庫県、ひょうご・神戸国際ビジネススクエア 共催:大学コンソーシアムひょうご神戸 参加:(留学生)149校710名、(教職員)3校5名、(企業・団体・行政)69社 III. インターンシップ番外編 『国際交流機関リレーインターンシップ』 (8月21日～9月2日、各機関1～2日で合計5日) 【受入機関】JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ 【実施内容】当コンソ、JICA関西、兵庫県国際交流協会との3者協定に伴う連携事業の1つとして実施。日本人3名、留学生3名の計6名が参加、国際交流機関への理解を深めた。10月26日のJICA秋祭りでは、参加学生が実習内容のアウトプットとなる発表した。 <自己評価> ひょうご留学生インターンシップでは、16年間で663名の修了生を輩出し、その6割以上が日本で就職するなど日本での就職を希望する留学生にとって意義のある事業となっている。受入企業からは、高い評価を得、参加した留学生の意識の向上も認められるなど、当初期待以上の効果を上げることができた。参加留学生からは、「日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合100%」と留学生の日本での就職に好影響を及ぼしていることが分かる。次年度も加盟大学の理解と協力を得て、連携を更に深めながらプログラム推進に励みたい。 II. 留学生支援プログラム(外国人向け合同企業説明会) ・6月19日(水)留学生向け合同企業説明会 主催:神戸市、兵庫県、ひょうご・神戸国際ビジネススクエア 共催:大学コンソーシアムひょうご神戸 参加:(留学生)149校710名、(教職員)3校5名、(企業・団体・行政)69社 III. インターンシップ番外編 『国際交流機関リレーインターンシップ』 (8月21日～9月2日、各機関1～2日で合計5日) 【受入機関】JICA関西、兵庫県国際交流協会、JETRO神戸、コンソ 【実施内容】当コンソ、JICA関西、兵庫県国際交流協会との3者協定に伴う連携事業の1つとして実施。日本人3名、留学生3名の計6名が参加、国際交流機関への理解を深めた。10月26日のJICA秋祭りでは、参加学生が実習内容のアウトプットとなる発表した。 <報告> 2024年度の「留学生インターンシップ」は、10大学から61名の留学生が参加し、26社に協力いただいた。「外国人向け企業説明会」にも、留学生710名が参加し、今後も日本企業で就職を希望する留学生を支えていきたい。新規事業となった「国際交流機関リレーインターンシップ」は、日本人と外国人がペアとなり、国際交流機関で働くことのイメージを体験できたほか、参加機関が大学生と接する貴重な機会にもなった。	
達成目標に対する実績	①日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合100%②参加留学生数 2944名	①日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合100%②参加留学生数 2944名
活動指標に対する実績	1154名	1154名
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
1,600,000円	531,635円	1,068,365円	1,542,344円	57,656円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
留学生61名が参加の「ひょうご留学生インターンシップ」や、日本人学生と外国人留学生がペア形式で参加した「国際交流機関リレーインターンシップ」により、多国籍環境下での就業体験を提供した点は評価できる。一方で、県内での留学生の就職者数が増加する中、早期離職が課題となっている。留学生が自身のアイデンティティを活かした就職・定着を目指すこと、また、外国人の職場定着に貢献できる日本人学生を育成することも視野に入れた事業展開を期待する。				

※ 自己評価基準:対到達目標	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※ 自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
-------------------	--	------------------	--

【2024年度 キャリア委員会 事業報告(④取組1-2)】

課題④取組1-2	「兵庫県」外国人留学生採用ワンストップ支援事業	
達成目標	①日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合70%以上 ②参加留学生数 250名以上/5年	
課題を解決する 取組概要	外国人留学生採用ワンストップ支援事業 高度な技術力や知識を有する外国人留学生の円滑な県内就職を促進するため、留学生と企業それぞれを対象として、留学生の採用から採用後の職場定着までを支援する事業を行う	
活動指標	各年参加留学生数 50名以上	
計画(4月記載)	自己評価(12月記載)	報告(3月記載)
【兵庫県産業労働部国際局国際課経済交流班受託事業 「外国人留学生採用ワンストップ支援事業」】 ●事業内容 (1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談 日本での就職を希望する留学生及び留学生の採用を検討している企業の双方からの相談を【対面・オンライン・メール・電話等】により実施し、それぞれの実情に即したアドバイスを行う。 ア:窓口相談の対象者 a 留学生(既卒の就職者を含む。) b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業 イ:相談内容 a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応 b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介 ②専門家派遣等 留学生の採用及び人材活用に係る高度な相談に専門家と連携して対応するとともに、必要に応じて専門家が企業を訪問し、指導・助言を行うことで企業側の受入体制を整備する。 ア:対象 留学生採用検討の企業、留学生採用中の企業 イ:内容 a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応 2件 b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業へ専門家派遣 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②回数 年1回 2024年9月21日実施 「セミナー＆パネルディスカッション外国人の職場定着を考える」 参加者: (教職員)11校12名、企業45社45名 ③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援 ④アーカイブ配信 セミナーの内容を動画撮影し、動画配信サイト等で配信する。 12月配信予定 (3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。 ●業務体制 (1)相談窓口には相談員を1名配置する。 (2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能 な人材とする。 (3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00～16:00(年末年始、土日祝日を除く)とする。 <自己評価> 窓口開設2年目となり、留学生インターンシップ研修後の継続的な支援機能が本格的に稼働し、県内企業への内定者が出始めている。1年目に築いた関係機関との連携をさらに強固にするとともに、姫路商工会議所など新たな連携先も開拓。窓口としての基盤を強化しつつ、留学生や企業支援に関わる機関とのネットワークを活用し、多角的な支援体制を構築中。	(1)外国人留学生採用ワンストップ相談窓口の設置 ①窓口相談【対面・オンライン・メール・電話】 a 留学生(既卒の就職者を含む。) 74名128件 b 留学生の採用を検討している企業及び留学生を採用した企業 81社88件 イ:相談内容 a 留学生の国内就職に関する相談及び県内企業による採用・人材活用に関する相談対応 b 留学生向け合同企業説明会やインターンシップ等の紹介 ②専門家派遣等 ア:対象 留学生採用検討の企業、留学生採用中の企業 イ:内容 a 留学生の採用・人材活用に係る専門的な内容に対する面談または電話での相談対応 2件 b 留学生の受入体制整備等に向けた相談企業へ専門家派遣 (2)外国人留学生採用促進セミナーの開催 ①対象 留学生の採用を検討している県内企業 ②回数 年1回 2024年9月21日実施 「セミナー＆パネルディスカッション外国人の職場定着を考える」 参加者: (教職員)11校12名、企業45社45名 ③内容 留学生に対する基本的な理解促進、先進事例及び支援 ④アーカイブ配信 セミナーの内容を動画撮影し、動画配信サイト等で配信する。 12月配信予定 (3)情報収集 留学生の就職に関する各種情報の収集に努めるとともに、県内企業による相談窓口活用を促す。 ●業務体制 (1)相談窓口には相談員を1名配置する。 (2)相談員は外国人留学生のキャリアアップ支援等に従事した経験があり、企業・外国人留学生の双方への相談対応が可能 な人材とする。 (3)相談窓口の開所時間は、月・水・金曜日の9:00～16:00(年末年始、土日祝日を除く)とする。 <自己評価> 窓口開設2年目となり、県内企業への内定者が出始めている。関係機関や行政との連携をより強めることができた。日本語学校などとも情報共有ができる関係性も構築し、長期スパンでの留学生の県内定着にむけた取組もできた。	
達成目標に対する実績	①80% ②14名(累計)	①82% ②263名(累計)
活動指標に対する実績	74名	123名
自己評価基準:対到達目標 ※	4	—
自己評価基準:対継続性 ※	4	—

事業収支				
収入	支出	収支	支出	収支
6,291,000円	3,034,360円	3,256,640円	6,291,000円	0円
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)				
ひょうご留学生留学生インターンシップ参加学生の継続的な支援の場として機能していること、個々の留学生の特性に合わせた丁寧な支援により、内定者が出ていること、留学生の就職に纏わる関係機関とより実質的な連携が出来ていることは、評価できる。今後も、個々の留学生への丁寧な支援、企業の潜在的ニーズに触れる丁寧なヒアリングと、多角的な視点での連携先の開拓や関係強化により、留学生の県内企業定着を促進することを期待する。				

※	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	※	自己評価基準:対継続性	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
---	--	---	-------------	--

【2024年度 キャリア委員会 事業決算】

(単位:円)

		予算	決算	各プログラム 予算															委員会 予算・決算			
				①取組1-1			①取組1-2			①取組2			④取組1-1			④取組1-2						
				大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト			「厄崎市」大学生等向け職場体験事業			県内企業・団体等の魅力を情報発信			留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム			外国人留学生採用ワンストップ支援事業						
				内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				内訳
収入	会費収入	1,700,000	1,633,540											会費収入	1,600,000	1,542,344				会費収入	100,000	91,196
	助成事業収入	0	0																			
	受託事業収入	11,424,000	11,424,000	兵庫県受託事業	4,633,000	4,633,000	厄崎市受託事業	500,000	500,000								兵庫県受託事業	6,291,000	6,291,000			
	プログラム収入	0	0																			
	雑収入	0	0																			
	票入金	0	0																			
計	13,124,000	13,057,540		4,633,000	4,633,000		500,000	500,000			0	0		1,600,000	1,542,344		6,291,000	6,291,000		100,000	91,196	
支出	会議費	0	60,064										会議費	0	51,701				会議費	0	8,363	
	旅費交通費	260,000	296,884	打合せ交通費	60,000	42,240	旅費交通費	0	56,610							打合せ交通費	200,000	198,034				
	通信運搬費	270,000	767,594	チラシ送付費	30,000	157,018	HP作成・チラシ送付費	40,000	2,920				通信運搬費	0	250,530	チラシ送付費	200,000	357,126				
	消耗品費	220,000	378,720	消耗品費	100,000	152,326									消耗品費	120,000	226,394					
	新聞図書費	0	3,900												新聞図書費	0	3,900					
	印刷製本費	400,000	544,753	チラシ等印刷費	100,000	104,829	チラシ作成費	30,000	10,470						チラシ等印刷費	200,000	351,021	資料印刷費	70,000	78,433		
	光熱水料費	0	0																			
	賃借料	938,000	642,750	イベント会場費・PCリース	338,000	282,565							イベント会場費・PCリース	300,000	122,757	イベント会場費・PCリース	300,000	253,248	賃借料	0	4,180	
	保険料	0	0																			
	謝金	490,000	595,568	講師謝金	140,000	72,000							講師謝金	250,000	258,600	講師謝金	100,000	264,968	講師経食等	30,000	0	
	租税公課	50,000	2,000	収入印紙	10,000	2,000									収入印紙	10,000	0					
	支払手数料	20,000	10,945	振込手数料	10,000	2,200							振込手数料	0	2,200	振込手数料	10,000	6,325	振込手数料	0	220	
	諸会費	45,000	50,000	会費	45,000	50,000																
	委託費	2,080,000	1,517,458				コーディネート業務委託費	430,000	430,000				HP製作費・業務委託費	650,000	665,058	専門家派遣	1,000,000	422,400				
	人件費	8,351,000	8,186,904	コーディネーター費	3,800,000	3,787,822							パート・アルバイト代	400,000	191,498	コーディネーター・相談員費	4,151,000	4,207,584				
	雑費	0	0																			
	計	13,124,000	13,057,540		4,633,000	4,633,000		500,000	500,000			0	0		1,600,000	1,542,344		6,291,000	6,291,000		100,000	91,196
収入－支出		66,460																				